

福島県内における被災状況調査

1. 須賀川市内

調査日：平成23年4月22日、24日

調査者：日本大学工学部建築学科 土方吉雄

調査場所：(A)藤沼貯水池とその周辺、(B)須賀川市役所周辺、(C)農村集落仁井田地区



調査位置図 (Yahoo 地図)

(A) 藤沼貯水池とその周辺 (写真1～6)

藤沼貯水池堤体高さ 18.1mのアースダムが決壊し、土石流が麓の滝地区・北町地区に流れて74棟が被災（うち流失・全壊19棟）。6名死亡、2名行方不明。

(B) 須賀川市役所周辺 (写真7～8)

旧奥州街道沿いを中心に家屋や公共施設が多数被害を受けた。その被害状況（2011.5.11現在）は、市域全体で住家が9,329棟（全壊383棟、半壊757棟、一部破損8,189棟）、公共施設93棟、その他非住家4,955棟である。

(C) 農村集落仁井田地区 (写真9～11)

良好な土蔵景観が残る農村集落。土蔵の多くが被害を受けた。



1 水が流出してしまった藤沼貯水池



2 公園護岸の湖に向かったすべりとはらみだし



3 貯水池決壊の土石流により、被害を受けた住宅地



4 土石流により損壊した橋脚部分



5 土石流に耐えた屋敷林、がれき撤去



6 流出を免れた家屋



7 被災して使用不可能になった須賀川市庁舎



8 市役所周辺の被災した歴史的建築物



9 被災した土蔵



10 被災した土蔵、家屋の屋根



11 被災した土蔵

2. 浜通り北部

調査日：平成23年5月8日

調査者：日本大学工学部建築学科 土方吉雄、市岡綾子、阿部純也、高橋康弘
福島県 及川美帆

調査場所：(A)南相馬市原町区下渋佐、(B)南相馬市鹿島区右田浜付近、
(C)相馬市相馬港付近、(D)宮城県山元町磯浜漁港付近



調査位置図 (Yahoo 地図)

(A)南相馬市原町区下渋佐（写真1～3）

新田川河口の南側の防潮堤の損壊が大きく、後背地の建物はほとんどが流失し、また倒木、流木の被害が大きい。河口北側の東北電力グリーンパークは、高台になっていることから倒木、流木などの被害が少ない。



1 全建物が流失・全壊。左高台の緑は東北電力グリーンパーク



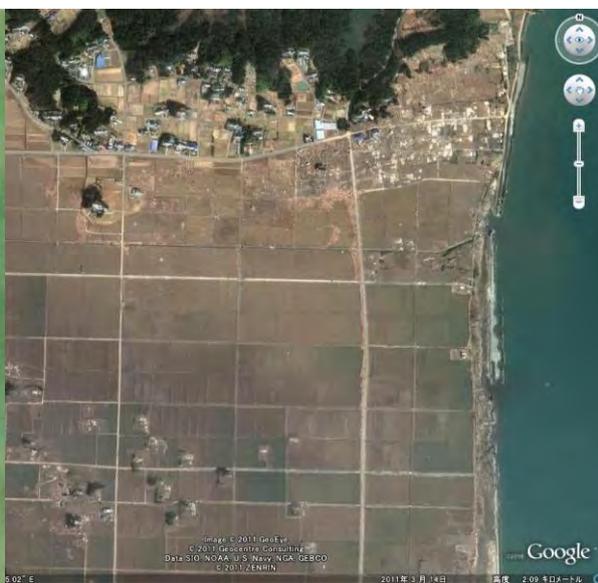
2 破壊された防潮堤、奥が東北電力グリーンパーク



3 植物も壊滅

(B) 南相馬市鹿島区右田浜付近 (写真4～7)

真野川河口及び北側の防潮林の損壊が大きく、倒木、流木の被害が大きい。また、後背地の建物の多数が流失・全壊している。



(震災前)

(震災後)



4 真野川河口付近の真島橋の欄干上に打ち上げられた防潮林の流木



5 真野川河口付近の建物は全て流失し、消波ブロックが散乱している
防潮林はほとんど倒壊している



6 倒壊した建物と流木の瓦礫の山



7 家屋流失を防いだ屋敷林

(C)相馬市相馬港付近 (写真8～13)

相馬港・相馬漁港付近 (地図上側) は松川浦側に比べ、建物、防潮林の被害が大きい。



(震災前)



(震災後)



8 破壊された相馬漁港



9 相馬港（右）と市街地の緩衝林・公園は倒木多数



10 低地部の建物はほぼ壊滅



11 少し高台にある家屋は倒壊・流失を免れている



12 相馬港 2 号埠頭付近の防潮林の倒木、幹折れが多数見られる



13 相馬港・相馬漁港の南に位置する松川浦

(D)宮城県山元町磯浜漁港付近（写真 14～17）

磯浜漁港付近の建物は壊滅しほぼ流失しているが、スダジイの優占する常緑広葉樹林が成立している小丘陵地斜面にある「磯の水神社」の建物は流失を免れていた。





14 磯浜漁港付近の流失した建物のがれきが散乱



15 「磯の水神社」の常緑広葉樹林が残存



16 「磯の水神社」の常緑広葉樹林



17 神社は浸水したが流失を免れている